



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
コード番号 5724 URL <https://www.asaka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 浩太
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 (氏名) 大浪 康洋 TEL 024-944-4744
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	3,677	△13.4	83	△71.5	61	△77.6	209	△6.6
2023年9月期第2四半期	4,246	2.6	292	△28.8	276	△30.7	224	△24.6

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 239百万円 (1.3%) 2023年9月期第2四半期 236百万円 (△22.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	41.90	-
2023年9月期第2四半期	44.70	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	8,439	4,461	52.4	881.46
2023年9月期	8,348	4,255	50.4	841.01

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 4,420百万円 2023年9月期 4,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期(予想)	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,242	△0.5	202	△48.8	195	△49.2	326	6.3	65.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	5,144,600株	2023年9月期	5,144,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	129,498株	2023年9月期	137,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	5,009,020株	2023年9月期2Q	5,024,517株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人の消費活動の持ち直しには足踏みが見られたものの、企業活動には持ち直しの動きが見られ、物価上昇の影響を受けつつも景気は緩やかに回復しました。一方で、世界的には地政学リスクの高まりやインフレとそれに伴う金融引き締め、エネルギー・資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、民生電子機器や情報通信機器の需要が低下し、主要取引先において半導体製品等の電子部品の生産量が減少し、貴金属の取り扱い数量は前年同四半期を下回りました。

主要製品のうち、金の価格は米国金利の利上げが停止されるとの見方や、紛争による安全資産としての需要の高まりから、ドル建て価格が上昇し高い水準で堅調に推移しました。また円安ドル高傾向が続いたことも影響し、円建て価格は前年同四半期を上回りました。銅の価格は、世界最大の銅消費国である中国における需要や製造業において世界的に回復傾向が見られたことから、ドル建て価格は底堅く推移し、円安ドル高の影響により円建て価格は前年同四半期を上回りました。

このような事業環境の中、当社グループは資源循環型社会の実現に向け、経営基盤の強化及び新規事業の確立に努めました。社員一人ひとりが積極的にチャレンジする組織風土を目指して前期に導入した新人事制度に基づき、評価体系のブラッシュアップに取り組んだほか、人材育成制度の構築に努めました。

既存事業では、DX化に伴い拡大が期待される電子部品業界において、取引先とのリレーション強化や独自技術を武器とした新規開拓に注力しました。収益力の向上に向け、営業力の底上げや製造工程の効率化によるコスト低減にも継続的に取り組んでおります。なお、当社取引先における電子部品の生産量は足元では回復傾向にあり、当社が取り扱う貴金属の数量も2024年9月期末にかけて増加していく見通しとなっております。

新規事業では、リチウムイオン電池（以下、LiB:Lithium-ion Battery）再生事業の事業化に向け、研究開発及び事業スキーム構築に注力しました。研究開発においては、CO₂排出量の削減とレアメタルの高回収率を両立するプロセスの構築に努めつつ、電池メーカーとの共同開発にも取り組んでおります。事業スキームの構築につきましては、現在も大きな枠組みの形成に向けて、複数企業とアライアンス締結に向けた交渉を継続しております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は売上高3,677百万円（対前年同四半期13.4%減）、営業利益83百万円（同71.5%減）、経常利益61百万円（同77.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は209百万円（同6.6%減）となりました。貴金属の主要製品価格は前期を上回ったものの、取引先の減産等に伴い、取り扱い数量が減少したことで売上高が減少しました。加えて、中長期的な成長を見据えた組織体制の強化やLiB再生事業の研究開発への積極的な投資により、前年同期比で減益となりました。なお、ふくしま産業復興企業立地補助金（13次募集）等により、特別利益244百万円を計上しております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、売上高については、セグメント間取引の消去前の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の消去後の数値であります。また、間接部門の経費負担には、LiB再生事業における研究開発費用を含んでおります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(貴金属事業)

主要製品の価格が前期を上回ったものの、貴金属の取り扱い数量が減少したことにより、売上高は3,062百万円（対前年同四半期16.0%減）となりました。加えて、間接部門の経費負担の増加によりセグメント利益は61百万円（同74.8%減）の減収減益となりました。

(環境事業)

主要製品の価格が前期を上回ったものの、販売数量の減少により売上高は526百万円（同0.8%減）の減収となりました。加えて、生産設備の増強に伴う減価償却費や間接部門の経費負担等の増加により、セグメント損失は2百万円（前年同四半期は27百万円の利益）となりました。

(システム事業)

主力製品である品質管理システムの販売が増加したことにより、売上高は78百万円（対前年同四半期37.1%増）の増収となりました。一方で、間接部門の経費負担が増加したことにより、セグメント損失は13百万円（前年同四半期は9百万円の損失）となりました。

(運輸事業)

連結グループ内の取引額の増加により、売上高は103百万円（対前年同四半期2.9%増）の増収となりました。一方で、人件費の増加や燃料費の高騰等により、セグメント利益は11百万円（同24.8%減）の増収減益となりました。

(その他)

連結グループ内の取引額の増加により、売上高は63百万円（同5.0%増）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期は2百万円の損失）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて91百万円増加し、8,439百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が35百万円、棚卸資産が167百万円、建物及び構築物（純額）が76百万円、建設仮勘定が88百万円、投資有価証券が43百万円増加し、受取手形及び売掛金が63百万円、その他（流動資産）が262百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、3,978百万円となりました。

主な要因は、賞与引当金が41百万円、借入金が324百万円減少し、買掛金が31百万円、未払法人税等が89百万円、その他（流動負債）が30百万円、借入金地金が96百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて205百万円増加し、4,461百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が170百万円、その他有価証券評価差額金が30百万円増加したことです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、1,174百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、500百万円の収入となりました（前年同四半期は606百万円の収入）。

この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が304百万円、減価償却費が141百万円、棚卸資産の増加額が167百万円、その他（営業）の収入が405百万円、補助金収入が243百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、77百万円の支出となりました（前年同四半期は190百万円の支出）。

この主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が299百万円、補助金の受取額が239百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、379百万円の支出となりました（前年同四半期は273百万円の支出）。

この主な内訳は、短期借入金の純減少額が508百万円、長期借入金の返済による支出が172百万円、長期借入れによる収入が356百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期連結業績予想につきまして、現時点においては2023年11月14日公表の当初予想を変更しておりません。今後の進捗状況を踏まえ、修正が必要な場合は適時適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,766,581	1,802,315
受取手形及び売掛金	423,614	360,530
電子記録債権	34,185	29,772
商品及び製品	736,564	932,113
仕掛品	401,666	393,465
原材料及び貯蔵品	121,478	101,774
その他	330,573	68,572
流動資産合計	3,814,664	3,688,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,659,890	2,784,551
減価償却累計額	△1,412,060	△1,459,899
建物及び構築物(純額)	1,247,829	1,324,651
機械装置及び運搬具	2,619,234	2,570,141
減価償却累計額	△2,150,034	△2,107,049
機械装置及び運搬具(純額)	469,199	463,091
土地	1,362,987	1,362,987
リース資産	35,028	35,028
減価償却累計額	△22,162	△24,063
リース資産(純額)	12,865	10,964
建設仮勘定	959,135	1,047,833
その他	238,033	238,184
減価償却累計額	△192,925	△195,453
その他(純額)	45,108	42,730
有形固定資産合計	4,097,126	4,252,259
無形固定資産	69,997	80,207
投資その他の資産		
投資有価証券	113,591	156,766
繰延税金資産	645	691
退職給付に係る資産	79,988	78,253
その他	181,801	192,195
貸倒引当金	△9,078	△9,111
投資その他の資産合計	366,949	418,795
固定資産合計	4,534,073	4,751,262
資産合計	8,348,738	8,439,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,472	246,716
短期借入金	963,191	488,545
1年内償還予定の社債	200,000	330,000
リース債務	4,183	4,183
未払法人税等	15,084	104,808
借入金地金	473,262	569,985
賞与引当金	158,781	117,509
その他	271,872	302,049
流動負債合計	2,301,846	2,163,798
固定負債		
社債	130,000	—
長期借入金	1,227,615	1,377,746
リース債務	9,910	7,819
繰延税金負債	72,428	85,131
長期未払金	299,223	291,708
資産除去債務	51,783	52,258
その他	—	261
固定負債合計	1,790,962	1,814,925
負債合計	4,092,808	3,978,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	369,032	369,363
利益剰余金	3,423,956	3,594,548
自己株式	△150,792	△142,124
株主資本合計	4,146,492	4,326,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,920	94,255
繰延ヘッジ損益	99	△209
退職給付に係る調整累計額	617	505
その他の包括利益累計額合計	64,637	94,551
新株予約権	40,660	40,446
非支配株主持分	4,139	—
純資産合計	4,255,929	4,461,080
負債純資産合計	8,348,738	8,439,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,246,024	3,677,789
売上原価	3,027,829	2,627,686
売上総利益	1,218,195	1,050,103
販売費及び一般管理費	926,048	966,862
営業利益	292,147	83,240
営業外収益		
受取利息	1,242	810
受取配当金	1,448	94
受取賃貸料	1,962	1,449
補助金収入	2,551	1,688
借入地金評価益	3,159	—
為替差益	—	244
その他	3,284	3,879
営業外収益合計	13,647	8,167
営業外費用		
支払利息	8,363	9,300
地金借入料	8,150	7,664
借入地金評価損	—	10,767
為替差損	1,702	—
その他	11,087	1,763
営業外費用合計	29,304	29,495
経常利益	276,490	61,911
特別利益		
補助金収入	—	243,800
固定資産売却益	1,000	—
新株予約権戻入益	642	214
特別利益合計	1,642	244,014
特別損失		
固定資産除却損	3,579	1,760
特別損失合計	3,579	1,760
税金等調整前四半期純利益	274,552	304,165
法人税等	49,998	94,308
四半期純利益	224,554	209,856
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,588	209,856

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	224,554	209,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,121	30,335
繰延ヘッジ損益	641	△309
退職給付に係る調整額	333	△111
その他の包括利益合計	12,095	29,914
四半期包括利益	236,650	239,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,684	239,771
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	274,552	304,165
減価償却費	122,057	141,902
株式報酬費用	10,805	4,303
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,257	32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,468	△41,271
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	1,941	1,573
受取利息及び受取配当金	△2,690	△905
支払利息	8,363	9,300
為替差損益 (△は益)	1,181	△296
補助金収入	—	△243,800
固定資産売却損益 (△は益)	△1,000	—
固定資産除却損	3,579	1,760
売上債権の増減額 (△は増加)	58,188	67,497
棚卸資産の増減額 (△は増加)	195,308	△167,644
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,541	31,244
その他	91,138	405,872
小計	758,673	513,735
利息及び配当金の受取額	2,690	905
利息の支払額	△7,825	△9,185
法人税等の支払額	△134,976	△7,684
法人税等の還付額	—	2,370
災害による損失の支払額	△11,702	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	606,859	500,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△183,716	△299,877
有形固定資産の売却による収入	1,000	—
無形固定資産の取得による支出	—	△13,033
補助金の受取額	—	239,000
その他	△7,776	△3,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,492	△77,046
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,805	△508,582
長期借入れによる収入	—	356,588
長期借入金の返済による支出	△52,022	△172,413
自己株式の取得による支出	△125,229	—
配当金の支払額	△80,847	△40,065
その他	△13,188	△14,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,093	△379,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,621	195
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141,651	44,252
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,414	1,138,990
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△8,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,488,066	1,174,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式7,894株の処分を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が8,667千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が142,124千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社の連結子会社であった株式会社ASAKA SOLARは、休眠状態が続いており、当社グループの事業戦略から外れ重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	運輸事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,647,184	530,246	57,419	2,688	4,237,539	8,485	4,246,024
外部顧客への売上高	3,647,184	530,246	57,419	2,688	4,237,539	8,485	4,246,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	80	—	97,586	97,667	52,217	149,884
計	3,647,184	530,327	57,419	100,274	4,335,206	60,703	4,395,909
セグメント利益又は損失(△)	245,070	27,090	△9,197	15,891	278,854	△2,363	276,490

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分析事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	運輸事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,062,938	525,742	78,716	973	3,668,371	9,418	3,677,789
外部顧客への売上高	3,062,938	525,742	78,716	973	3,668,371	9,418	3,677,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	358	—	102,220	102,578	54,296	156,875
計	3,062,938	526,101	78,716	103,194	3,770,950	63,714	3,834,665
セグメント利益又は損失(△)	61,809	△2,152	△13,820	11,956	57,793	4,118	61,911

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分析事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「運輸事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。